2023 年度環境経営レポート

対象期間：2023 年７月～2024 年６月

発行日：2024 年９月 15 日

"Future to the Field"
フタバコンサルタント株式会社
FUTABA CONSULTANT CO., LTD
福島県いわき市好間町上好間字岸 12-3

目　次

１．環境経営組織図と役割分担・・・・・・・・・・・・・・・・・・３

２．事業活動の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４

３．環境経営方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５

４．環境経営目標とその実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６

５．主な環境負荷の実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９

６．環境活動計画の取組結果とその評価・・・・・・・・・・・・１０

７．次年度の環境経営目標及び環境経営計画・・・・・・・・・・１２

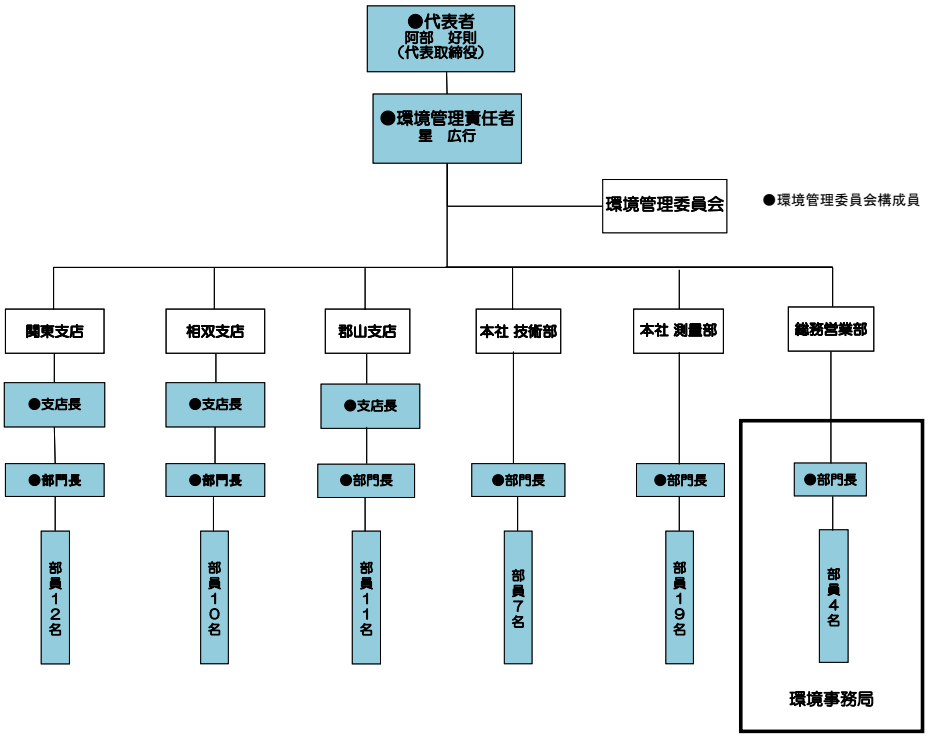
８．環境関連法規制の遵守状況・・・・・・・・・・・・・・・・・１５

９．代表者における全体評価と見直しの結果・・・・・・・・・・１５

地 域 活 動 例（巻末資料）・・・・・・・・・・・・・・・・・１６

1．環境経営組織図と役割分担

2023年度組織図
(2023/7/1現在)による



組織	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認 ・環境経営目標・環境活動計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境管理委員会	・環境経営目標・環境活動計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境活動計画書原案の作成補佐 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
部門長	・自部門における環境経営目標、環境活動計画書原案の作成 ・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門における緊急事態対応手順書の作成、テスト・訓練の実施、記録の作成保管 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全社員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

２．事業活動の概要

１．名称及び代表者名：

フタバコンサルタント株式会社

代表取締役　阿部好則

２．所在地：全事業拠点が認証・登録範囲

本　　社：〒970-1153 福島県いわき市好間町上好間字岸 12-3　TEL 0246-36-6781
延床面積　495.98 ㎡　従業員数　35 名

郡山支店：〒963-0111 福島県郡山市安積町荒井字大池 49 番地　TEL 024-946-7567
延床面積　157.32 ㎡　従業員数　12 名

相双支店：〒976-0014 福島県双葉郡楢葉町大字北田中満 229－2　TEL 0240-25-5260
延床面積　103.32 ㎡　従業員数　11 名

関東支店：〒305-0042 茨城県つくば市下広岡 1040 ジョイプラザ 202　TEL 029-859-1135
延床面積　132.00 ㎡　従業員数　14 名

３．売上高：　1,128 百万円（2023 年度）

４．環境管理責任者氏名及び担当者連絡先：

責任者：(正)常務取締役営業本部長　星　広行
(副)取締役総務営業部企画室長　阿部　昇平
担当者：　総務営業部係長　小林　卓矢
ＴＥＬ：　０２４６－３６－６７８１
ＦＡＸ：　０２４６－３６－６６７０

５．認証・登録の対象範囲：

測量・設計・地質調査

６．業務内容：

測量　基準点測量・水準測量・地形測量・路線測量・河川測量・トンネル測量・用地測量・工事測量・ＧＰＳ(GNSS)測量・３Ｄレーザースキャナー測量（地上型・車載型）・ＵＡＶによる３Ｄ計測

設計　道路設計・河川設計・砂防及び海岸設計・下水道設計・宅地設計・構造物設計・各種許認可申請・積算業務・リアルパース業務・ＧＩＳ業務

調査　地質調査・物理探査・地すべり調査・地下水調査・各種原位置試験・土質試験・環境測定・家屋調査

７．対象組織の従業員数：72 人

３．　環境経営方針

基本理念

フタバコンサルタント株式会社は、「社会環境整備のトータルコンサルタント」として、地球環境に配慮した事業活動が重要経営課題の１つであることを認識し、地球環境の保全と負荷の低減に向け社員一丸となって取り組みます。

行動指針

１　環境関連法規及び当社が同意した事項を遵守します。

２　環境経営目標を定め、よりよい環境水準を目指すため、必要に応じて見直しを図りながら、環境活動を継続的に行います。

　①　二酸化炭素排出量の削減を推進します。

　②　水道使用量を削減します。

　③　廃棄物の削減とリサイクルを推進します。

　④　環境に配慮した工法の提案に努めます。

３　経営における課題とチャンスを考慮して環境経営目標を定め、それに取り組み定期的に見直しをすることにより環境経営の継続的な改善を行います。

４　この環境経営方針は当社全社員に周知すると共に環境経営レポートを公開します。

制定日　2012 年7月１４日
改定日　2021 年 12 月1日
フタバコンサルタント株式会社
代表取締役　阿部 好則

4. 環境経営目標とその実績

①中長期目標

項目			単位	2022年度 基準年度	2023年度	2024年度	2025年度
二酸化炭素排出量			kg-CO_2	198,801			
				※	△1%	△2%	△3%
	電力		kWh	92,494			
				対基準	△1%	△2%	△3%
	液化石油ガス（LPG）		m^3	48.0			
				対基準	△1%	△2%	△3%
	ガソリン		ℓ	62,361			
				※	△1%	△2%	△3%
	軽油		ℓ	2,458			
				※	△1%	△2%	△3%
廃棄物排出量		一般廃棄物	t	3.526			
				対基準	△1%	△2%	△3%
		産業廃棄物	t	7.740			
				対基準	△1%	△2%	△3%
水使用量			m^3	536	△1%	△2%	△3%
環境に配慮した工法の提案			件	1	4	4	4

※取組年度売上高にてガソリン使用量を比例計算し算出した数値に対して

②年度目標

経営資源投下時の意識改革と、運用の継続に努める

施設別環境目標　2023年度実績

事業所　本社		単位	基準年度	売上比率(%)	運用期間における実績			
			2022年度	2022年度対2023年度	2023年7月～2024年6月			
					目標※	実績/割合(%)	達成度(%)	評価
二酸化炭素排出量		kg-CO2	66,555	－	67,855	70,520 (100%)	96.3	△
電力		kWh	51,612	－	51,096	55,139	92.7	△
		kg-CO2	－		24,679	26,632 (37.8%)		
液化石油ガス(LPG)		m^3	14.3	－	14.16	10.1	140.2	◎
		kg-CO2	－		87.93	63　(0.1%)		
ガソリン		ℓ	18,482.6	101.5	18,572.2	18,890.2	98.3	△
		kg-CO2	－		43,087.5	43,825 (62.1%)		
軽油		ℓ	－	－	－	－	－	－
廃棄物排出量	一般廃棄物	kg	842.6	－	834.2	825.700	101.0	○
	産業廃棄物	kg	1350	－	1336.5	2,470	54.1	×
水使用量		m^3	205	－	209.52	205	102.2	○
環境に配慮した工法の提案		件	3	－	4	4	－	◎

事業所　郡山支店		単位	基準年度	売上比率(%)	運用期間における実績			
			2022年度	2022年度対2023年度	2023年7月～2024年6月			
					目標※	実績	達成度(%)	評価
二酸化炭素排出量		kg-CO_2	37,791	－	35,654	40,970 (100%)	87.0	△
電力		kWh	18,446	－	18,262	18,476	98.8	△
		kg-CO2	－		8,820	8,924 (21.8%)		
液化石油ガス(LPG)		m^3	8.1	－	8.02	6.5	123.3	◎
		kg-CO2	－		49.80	40.4　(0.1%)		
燃料(ガソリン+軽油)		kg-CO2			26,783.4	32,006 (78.1%)		
ガソリン		ℓ	11,491.0	92.3	10,500.1	12,780.7	82.2	△
		kg-CO2	－		24,360.2	29,651 (72.4%)		
軽油		ℓ	1027.85		939.2	912.70	102.9	○
		kg-CO2	－		2,423.1	2,355 (5.7%)		
廃棄物排出量	一般廃棄物	kg	670.4	－	663.7	388.300	170.9	◎
	産業廃棄物	kg	0	－	0	0	－	－
水使用量		m^3	67	－	66.33	65	102.0	○
環境に配慮した工法の提案		件	0	－	1	0	－	－

事業所　相双支店		単位	基準年度	売上比率(%)	運用期間における実績			
			2022年度	2022年度対2023年度	2023年7月～2024年6月			
					目標※	実績	達成度(%)	評価
二酸化炭素排出量		kg-CO_2	32,713	－	32,894	38,737 (100%)	84.9	△
電力		kWh	11,262	－	11,149	12,246	91.0	△
		kg-CO2	－		5,385	5,915　(15.3%)		
液化石油ガス(LPG)		m^3	0.0	－	0.00	0.0	－	－
		kg-CO2	－		0.00	0　(0.0%)		
燃料(ガソリン+軽油)		kg-CO2			27,508.8	32,823 (84.7%)		
ガソリン		ℓ	10,198.3	100.8	10,177.1	12,752.9	79.8	△
		kg-CO2	－		23,610.8	29,587 (76.4%)		
軽油		ℓ	1514.0		1,510.9	1254.2	120.5	◎
		kg-CO2			3,898.0	3,236　(8.3%)		
廃棄物排出量	一般廃棄物	kg	220.0	－	217.8	481.4	45.2	×
	産業廃棄物	kg	0	－	0	0	－	－
水使用量		m^3	87	－	86.13	83	103.8	○
環境に配慮した工法の提案		件	0	－	1	0	－	－

事業所　関東支店		単位	基準年度	売上比率(%)	運用期間における実績			
			2022年度	2022年度対2023年度	2023年7月～2024年6月			
					目標※	実績	達成度(%)	評価
二酸化炭素排出量		kg-CO_2	47,045	－	48,149	46,880 (100%)	102.7	○
電力		kWh	17,384	－	17,210	17,702	97.2	△
		kg-CO2	－		7,762	7,984 (17.0%)		
液化石油ガス(LPG)		m^3	7.6	－	7.52	7.7	98.3	△
		kg-CO2	－		46.72	47.52 (0.1%)		
ガソリン		ℓ	16,953.3	103.6	17,388.0	16,744.9	103.8	○
		kg-CO2	－		40,340.1	38,848 (82.9%)		
軽油		ℓ	－	－	－	－	－	－
廃棄物排出量	一般廃棄物	kg	257.9	－	255.3	349.5	73.1	△
	産業廃棄物	kg	0	－	0	0	－	－
水使用量		m^3	69	－	68.31	66	103.5	○
環境に配慮した工法の提案		件	0	－	1	0	－	－

全事業所　計　（参考）		単位	基準年度	売上比率(%)	運用期間における実績			
			2022年度	2022年度対2023年度	2023年7月～2024年6月			
					目標※	実績	達成度(%)	評価
二酸化炭素排出量		kg-CO2	184,104	－	184,551	197,107 (100%)	93.6	△
電力		kWh	98,704	－	97,717	103,563	94.3	△
		kg-CO2	－		46,647	49,455 (25.1%)		
液化石油ガス(LPG)		m^3	30.0	－	29.70	24.3	122.2	◎
		kg-CO2	－		184.45	150.9 (0.1%)		
燃料(ガソリン+軽油)		kg-CO2			137,719.7	147,502 (74.8%)	93.4	△
ガソリン		ℓ	57,125.1	107.3	56,637.4	61,168.7	92.6	△
		kg-CO2	－		131,398.6	141,911 (72.0%)		
軽油		ℓ	2,542		2,450.1	2,166.9	113.1	○
		kg-CO2	－		6,321.1	5,591 (2.8%)		
廃棄物排出量	一般廃棄物	kg	1990.9	－	1971.0	2044.9	96.4	△
	産業廃棄物	kg	1350	－	1336.5	2470.0	54.1	×
水使用量		m^3	428	－	423.72	419.0	101.1	○
環境に配慮した工法の提案		件	3	－	4	4	－	◎

※目標値は、2023年度直営売上に基づき、ガソリン消費量を比例計算して設定している。

本社101.5%/郡山支店92.3%/相双支店100.8%/関東支店103.6%全社100.4%

評価欄にて、◎:(120%以上)、○:(100～120%未満)、△:(70～100%未満)、×:(70%未満)

環境に配慮した工法の提案については、4件以上で◎、1件以上で○、ゼロの場合は△とする。

※二酸化炭素排出量を把握する際に用いた購入電力の排出係数は0.483(東北電力)(本社・郡山支店・相双支店)及び0.451(東京電力エナジーパートナー)(関東支店)である

尚、2023年度の化学物質の取り扱いはございませんでした。

5. 主な環境負荷の実績（全社）

環境への負荷			単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量			kg-CO_2	198,801	207,188	205,391	184,104	197,107
	電力		kWh／年	92,494	100,231	105,175	98,704	103,563
	液化石油ガス(LPG)		m^3／年	48.0	38.6	30.3	30.0	24.2
	ガソリン		ℓ／年	62,360.6	63,588.5	62,603.4	57,125.1	61,168.7
	（軽油）		ℓ／年	2,458	3,029	2,585	2,542	2,167
廃棄物排出量（本社）		一般廃棄物	t	3.527	2.095	2.096	1.991	2.045
		産業廃棄物	t	7.74	3.75	0.93	1.35	2.47
水使用量			m^3	536	460	447	428	435
化学物質使用量			kg／年	0	0	0	0	0
地域活動（巻末資料参照）			社屋周辺放射線量モニタリング 福島イノベーション・コースト構想キャリア育成プログラム　出前授業 福島県土木専門研修　講師 その他各種技術講習会等					

※二酸化炭素排出量を把握する際に用いた購入電力の排出係数は0.483（東北電力）（本社・郡山支店・相双支店）、0.451(東京電力エナジーパートナー)(関東支店)である

※廃棄物の排出量は処理業者のデータを含む

６．環境活動計画の取組結果とその評価

項目		活動計画の内容	取組結果の評価	今後の課題
二酸化炭素排出量削減	電力使用量削減	①外出時、昼休み等パソコンを使用していないときには電源を切るかスリープさせる。 ②エアコンの設定温度を、夏期は26℃、冬期は２２℃とする。 ③パソコン、コピー機等のOA機器を省電力設定にする。	①◎実行できた ②△猛暑時設定温度が維持できなかった時期があった ③◎実行できた	①継続 ②継続 ③継続
	LPガス使用量削減	①湯沸かし時、火力を最強にしない。	①◎実行できた	①継続
	ガソリン/軽油 使用量削減	①急発進、急加速をさけ、停車中のアイドリングを行わない。 ②タイヤの空気圧を確認し、適正値を保つ ③車両の積載物を減らす ④ドライブレコーダーでの映像検証も含め、エコドライブを実施する	①◎実行できた ②◎実行できた ③〇概ね実行できた ④〇概ね実行できた	①継続 ②継続 ③継続 ④継続
廃棄物排出量削減	一般廃棄物排出量削減	①廃棄物の分別を掲示し徹底する。 ②コピーの裏面のカセットを用意し、チェック等に使用する印刷物はそれを活用する。 ③両面、縮小コピーを行い印刷物の量を少なくする。	①◎実行できた ②〇概ね実行できた ③〇概ね実行できた	①継続 ②継続 ③継続
	産業廃棄物排出量削減	①杭及び資材はなるべく業務終了時に回収し再利用する。 ②修理可能な商品は可能な限り修理して、長期に使用できるようにする。	①◎実行できた ②◎実行できた	①継続 ②継続
水使用量削減		①食器洗い、手洗い時の流水量を控えめにする。 ②トイレ時の流水で大と小を使い分ける。	①◎実行できた ②◎実行できた	①継続 ②継続
環境に配慮した工法の提案		①法面工等については極力緑化工法を提案する。（設計） ②工法について調査する。 ③測量選定提案(伐採範囲等)	①◎実行できた ②◎実行できた ③〇概ね実行できた	①継続 ②継続 ③継続

※◎実行できた
　〇概ね実行できた
　△あまり実行できなかった
　×実行できなかった

＜2023年度環境活動計画表及び取組状況チェック表＞

■取組期間：2023年7月～2024年6月

〔評価区分〕◎…実行できた、○概ね実行できた、
△…あまり実行できなかった、×…実行できなかった

環境目標	活動・取組項目 （なにを）	活動の具体的内容 （どのように）	取組状況の確認結果 総務営業部	本社測量部	本社技術部	郡山支店	相双支店	関東支店	担当者 各執行役員 チェック方法・頻度	報告頻度 1回/月
二酸化炭素排出量削減	■電力使用量削減	・外出時、昼休み等パソコンを使用していないときには電源を切るかスリープさせる。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	在室者・随時	
		・エアコンの設定温度を、夏期は26℃、冬期は22℃とする。	○	○	○	△	△	△	在室者・随時	
		・パソコン、コピー機等のOA機器を省電力設定にする。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	購入時・確認時	
	■LPガス使用量削減	・湯沸かし時、火力を最強にしない。							随時確認	
	■ガソリン/軽油 使用量削減	・急発進、急加速をさけ、停車中のアイドリングを行わない。	○	○	○	◎	◎	◎	週間工程会議時	
		・タイヤの空気圧を確認し、適正値を保つ	◎	◎	○	◎	○	○	週間工程会議時	
		・車両の積載物を減らす	◎	○	◎	○	○	△	週間工程会議時	
		・ドライブレコーダーでの映像検証も含め、エコドライブを実施する	◎	◎	○	◎	○	△	週間工程会議時	
廃棄物排出量削減	■一般廃棄物排出量削減	・廃棄物の分別を掲示し徹底する。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	実施時	
		・コピーの裏面のカセット等を用意し、チェック等に使用する印刷物はそれを活用する。	◎	◎	○	○	○	○	購入時・随時	
		・両面、縮小コピーを行い印刷物の量を少なくする。	○	○	○	○	○	○	随時	
	■産業廃棄物排出量削減	・杭及び資材はなるべく業務終了時に回収し再利用する。		○		◎	◎	◎	業務終了時	
		・修理可能な商品は可能な限り修理して、長期に使用できるようにする。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	故障発生時	
水使用料削減		・食器洗い、手洗い時の流水量を控えめにする。	◎	◎	◎	○	◎	△	随時	
		・トイレ時の流水で大と小を使い分ける。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	随時	
環境に配慮した工法の提案		・法面工等については極力緑化工法を提案する。			◎				随時	
		・工法について調査する。			◎				随時	
		・測量選定提案(伐採範囲等)			○				随時	

7.次年度の環境経営目標及び環境経営計画

＜2024年度環境経営目標＞

■制定日：2024年9月2日
■改訂日：

■対象施設等：本社・関東支店・郡山支店・相双支店

■取組期間：2024年7月～2025年6月

施設別の目標については別紙参照

■環境目標の設定（必須項目）

環境目標項目	単年度目標 2024年度目標（2024.7～2025.6）	中長期目標（3～5年） 2023年7月～2026年6月（3年）
二酸化炭素排出量	2022年度比 2%削減	2025年度までに2022年度実績値を、取組年度直営売上高予算にて比例計算し、3%削減を目指す。
廃棄物排出量	2022年度比 2%削減 (※回収頻度も考慮)	2025年度までに2022年度実績値の3%削減を目指す
水使用量	2022年度比 2%削減	2025年度までに2022年度実績値の3%削減を目指す
環境に配慮した工法の提案	7件の工法調査	工法を調査し、利用があれば記録する

■本年度環境目標値（必須項目）

環境目標項目	2022年度（2022.7～2023.6）排出量等の実績	取組期間（2024.7～2025.6）目標値
二酸化炭素排出量 (kg-CO2)	184,104	177,211 (※2022年度比△2%)
産業廃棄物排出量 (kg)	1,350	1,323.0 (2022年度比△2%)
一般廃棄物排出量 (kg)	1,991	1,951.1 (2022年度比△2%)
水使用量 (㎥)	428	419.44 (2022年度比△2%)
環境に配慮した工法の提案	3	7件の工法調査・提案

※予算（直営完工高）による比例計算の数値比△2%
直営売上比率(2022年度対2024年度)　本社・相双95.3%/関東支店101.7%/郡山支店89.9%
※二酸化炭素排出量を把握する際に用いた購入電力の排出係数は0.483（東北電力）(本社・郡山支店・相双支店)及び0.451(東京電力エナジーパートナー)(関東支店)である

■その他の活動

	目標
地域活動	○次世代育成事業講師派遣 ○40周年記念事業（防災拠点の寄贈） ○地域ボランティア出席 他

環境経営計画

策定日　2012年9月14日　　改定日　2023年12月1日

項目		活動計画の内容
二酸化炭素排出量削減	電力使用量削減	・外出時、昼休み等パソコンを使用していないときには電源を切るかスリープさせる。 ・エアコンの設定温度を、夏期は26℃、冬期は２２℃とする。 ・パソコン、コピー機等のOA機器を省電力設定にする。
	LPガス使用量削減	・湯沸かし時、火力を最強にしない。
	ガソリン/軽油 使用量削減	・急発進、急加速をさけ、停車中のアイドリングを行わない。 ・タイヤの空気圧を確認し、適正値を保つ ・無駄な積載物は車両に積まない ・ドライブレコーダーでの映像検証も含め、エコドライブを実施する
廃棄物排出量削減	一般廃棄物排出量削減	・廃棄物の分別を掲示し徹底する。 ・コピーの裏面のカセットを用意し、チェック等に使用する印刷物はそれを活用する。 ・両面、縮小コピーを行い印刷物の量を少なくする。
	産業廃棄物排出量削減	・杭及び資材はなるべく業務終了時に回収し再利用する。 ・修理可能な商品は可能な限り修理して、長期に使用できるようにする。
水使用量削減		・食器洗い、手洗い時の流水量を控えめにする。 ・トイレ時の流水で大と小を使い分ける。
環境に配慮した工法の提案及び実施		・法面工等については極力緑化工法を提案する。（設計） ・工法について調査する。 ・測量選定提案(伐採範囲等)

＜2024年度環境経営計画＞

環境目標	活動・取組項目 （なにを）	活動の具体的内容 （どのように）	実施時期 （いつまでに）	場所 （どこで）	実施者 （だれが）	部内チェック方法・頻度	確認者 報告頻度 1回/月
二酸化炭素排出量削減	■電力使用量削減	・外出時、昼休み等パソコンを使用していないときには電源を切るかスリープさせる。	通年	事務所	全員	在室者・随時	各執行役員
		・エアコンの設定温度を、夏期は26℃、冬期は22℃とする。	通年	各部室	全員	在室者・随時	各執行役員
		・パソコン、コピー機等のOA機器を省電力設定にする。	通年	事務所	事務局 ・部門長	購入時・確認時	各執行役員
	■LPガス使用量削減	・湯沸かし時、火力を最強にしない。	通年	給湯室	全員	随時確認	各執行役員
	■ガソリン/軽油 使用量削減	・急発進、急加速をさけ、停車中のアイドリングを行わない。	通年	路上	全員	週間工程会議時	各執行役員
		・タイヤの空気圧を確認し、適正値を保つ	通年	ガソリン スタンド	全員	週間工程会議時	各執行役員
		・車両の積載物を減らす	通年	ガソリン スタンド	全員	週間工程会議時	各執行役員
		・ドライブレコーダーの検証も含め、エコドライブを実施する	通年	ガソリン スタンド	全員	週間工程会議時	各執行役員
廃棄物排出量削減	■一般廃棄物排出量削減	・廃棄物の分別を掲示し徹底する。	通年	ゴミ置場	事務局	実施時	各執行役員
		・コピーの裏面のカセット等を用意し、チェック等に使用する印刷物はそれを活用する。	通年	各部室	全員	購入時・随時	各執行役員
		・両面、縮小コピーを行い印刷物の量を少なくする。	通年	各部室	全員	随時	各執行役員
	■産業廃棄物排出量削減	・杭及び資材はなるべく業務終了時に回収し再利用する。	通年	現場	現場 担当者	業務終了時	各執行役員
		・修理可能な商品は可能な限り修理して、長期に使用できるようにする。	通年	事務所	全員	故障発生時	各執行役員
水使用量削減		・食器洗い、手洗い時の流水量を控えめにする。	通年	給湯室	全員	随時	各執行役員
		・トイレ時の流水で大と小を使い分ける。	通年	トイレ	全員	随時	各執行役員
環境に配慮した工法の提案及び実施		・法面工等については極力緑化工法を提案する。	通年	不定	設計部員	随時	各執行役員
		・工法について調査する。	通年	不定	設計部員	随時	各執行役員
		・測量選定提案(伐採範囲等)	通年	不定	全員	随時	各執行役員

※環境経営計画の取組状況チェックは、毎月部門ごとに実施する。

8. 環境関連法規制の遵守状況

2024 年７月１日付において、環境関連法規等の遵守状況を確認しましたが、違反状態は認められませんでした。また、関係当局からの指摘や指導、あるいは、外部からの訴訟についても、過去３年間一度もありません。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

弊社の主要負荷であるガソリンによる二酸化炭素排出量が増え、全社的に目標を達成することができなかった。各自の行動により抑えられる部分は、引き続き継続して負荷の低減行動に努めること。会社としては引き続き、資源(車両の入替)の見極め基準も含めて環境に配慮した車両を検討、導入していく。
電力については夏場の気温が高い気象条件も影響し、全社的に上昇に転じてしまった。快適な職場環境と電力負荷は相反するが、現在の取組を継続し負荷の削減に努めること。

環境経営方針
　変更なし

実施体制
　変更なし

環境活動計画の実施状況について
　堅実に実行している。

法規制等に関する情報
　遵守している。

変更すべき事項
　特になし

○地 域 活 動 例（巻末資料）

夏祭り『好間わっしょい』に模擬店を出店しました

2023年8月20日　好間地区夏祭り『好間わっしょい』に模擬店を出店しました。

8月20日（日）弊社本社所在地に当る福島県いわき市好間町(好間第一小学校)において、4年ぶりの開催となった夏祭り『好間わっしょい』に模擬店を出店いたしました。

模擬店では『ヨーヨーすくい』を行い、来店した子供たちに和紙で作ったこよりのつり糸でヨーヨーすくいを楽しんでもらいました。ヨーヨーすくいではつり糸が切れるまで何個も釣り上げる子供たちがたくさんおり、両手いっぱいにヨーヨーを持って帰ってもらいました。その他にも今回初めて開催される「大食い大会」にもチーム参加してきました。
弊社は久々の出店となりましたが、他の出店者の方や来場の地域の方と交流を深める良い機会となりました。

県立平工業高校にて出前授業を行いました

2024年6月19日　福島イノベーション・コースト構想の人材育成事業の一環として、県立平工業高校にて出前授業を開催しました。

授業には土木環境工学科2年生40人が参加し、「最新の測量技術」をテーマに測量機器を使って体験学習をして頂きました。
次世代の担い手に業界の魅力を伝え、そして興味を持ってもらえる貴重な機会となりました。

"Future to the Field"
FUTABA
CONSULTANT CO., LTD

2024 年度環境経営レポートは 2025 年 9 月 15 日発行予定